

## しまね学校図書館活用コンクール 取組の概要

出雲市立斐川西中学校

1 応募部門 ※ 応募する部門に○を付けてください。

(○) 読書活動部門

( ) 学校図書館を活用した授業部門

### 2 実践のねらい

本校の学校教育ビジョンおよび学校図書館活用年間計画に基づき、豊かな心の育成を目標に読書支援に取り組む。

朝読書や余暇を活用した読書習慣の定着を目指す。

### 3 実践の概要

#### 1. 朝読書

朝礼前の10分間を朝読書の時間とし、毎日実施している。

いつも身近に本があるように各学級に「心の図書(15冊)」を置いていて、朝読書や休憩時間に活用している。「心の図書」とは卒業生が後輩に読んでほしいと贈った本である。「心の図書」の管理は図書委員が行っており、2カ月ごとに本の入れ替えをしている。

また、朝読書で読む本を借りられるよう、始業前に図書館も開館するようにしている。

#### 2. ブックトーク

全生徒が1回はブックトークを聞けるように、年間計画を立てている。斐川ブックトーク研究会、市立図書館職員、学校司書が行っている。トーク者は常に研修を重ね、たくさんの本を知ることや魅力ある紹介の仕方を勉強し合っている。

担任や国語科教員が生徒と一緒にブックトークを聞き、今後の読書指導の参考にしている。

ブックトークで紹介した本は、人数分の冊数を1週間教室に置いておき、いつでも手に取れるようにしている。その後、学校図書館内で展示をし、だれでも利用できるようにしている。今後の読書の参考になるように、図書館だよりにリストを掲載している。

#### 3. みんなで作る展示コーナー

いろいろな本を紹介するために、展示コーナーを常に何箇所か設置している。この展示コーナー作りは、司書・図書委員会・生徒有志や教職員の図書館応援団と共同で行っている。生徒は、展示のテーマを決める・展示する本を選ぶ・本の紹介POPを作る・飾りを作るなど自分の得意分野を生かし自発的にしてくれる。

#### 4. 図書館イベント

図書館イベントのひとつ、文化祭は学校での大きな行事である。学校図書館と図書委員会の企画で毎年展示をしている。毎年恒例である来場者へのしおりやブックカバー(図書委員会と司書・図書館応援団手作り)のプレゼントも好評である。

また、「こども読書週間」や「学校図書館の日」にはクイズやクロスワードパズルで、楽しみながら本や学校図書館を知ってもらう企画を行った。

### ○実践の成果

・ 本校は朝読書実施5年目になり、その成果として全校に読書の習慣が定着してきていて、年間50冊以上本を読むという目標の達成を目指している。

また、始業前に読書をすることによって落ち着いた気持ちで学校生活がおくれるようになってきた。

読書の時間を共有することで、担任を中心に身近な教員がおすすめの本を紹介する場面も多々あり、生徒はたくさん本を知ることができると同時に、教員との良好な関係を築いている。生徒同士で本の情報交換もなされていて、自分の読んだ本を相手が読んでみたくなるように紹介する力が付いてきている。

・ ブックトークでは、知らなかった本やジャンルに出会えることや、読書に対する興味がわいてくる効果があると言われているが、学校図書館の貸出し状況を見てもそれが顕著に表れている。

生徒たちが、とても集中してブックトークを聞ける姿勢は、日ごろの読書支援と学校生活への指導の成果だと考える。

- ・ 図書館の仕事にも興味を持っている生徒が多い。図書館に関わることで、より学校の中での図書館が身近な場所になったのではないかと考える。
- ・ 上記の3点の相互効果と学校司書の配置により図書館の利用が増えてきている。

●年間貸出冊数の推移

年度	項目	貸出冊数(冊)	開館日数(日)	1日平均貸出冊数(冊)
2007		1,289	147	8.8
2008		1,619	137	11.8
2009		7,228	194	37.3
2010		13,864	215	64.5
2011 (12月31日まで)		11,029	125	88.2

※学校司書配置は2009年から。

それに伴い、予約・リクエストの冊数も増加している。

予約・リクエストサービス・・・読みたい本が貸出中 → 返却されたら提供する  
 図書館に未所蔵 → 購入するか他図書館から借受

●予約・リクエストサービス冊数

年度	項目	予約・リクエスト 受付冊数(冊)	提供冊数(冊)	提供率(%)
2009		1,348	1,248	92.6
2010		1,553	1,619 ※前年度未提供分含む	104.2
2011 (12月31日まで)		696	601	86.4

※予約・リクエストサービスは、学校図書館の利用増加につながる。学校司書配置年から導入。

●蔵書数の変化

年度	項目	蔵書冊数 (冊)	受入冊数 (冊)	内訳(冊)	
				購入 (町費・市費)	寄贈
2009		7,723	449	214	235 (卒業生から118冊)
2010		10,133	2,410	1,742	668 (卒業生から88冊)
2011 (12月31日)		10,587	520 (除籍66冊)	403	117

※蔵書が充実してきたことで、図書館の利用が増えてきた。

図書館の利用が増えてきたことで、蔵書構成が充実してきた。

2010年度、生徒へ「読書に関するアンケート」実施。以後、その結果を選書の参考にし、生徒の読みたい本ジャンルの本の要望を受入れることができた。

- ・ 文化祭は図書委員会の活動の発表の場でもあるが、ひとりひとりの役割やチームワークを認識し達成することで、学校生活での大きな自信につながっていると考える。

文化祭等で学校図書館の情報を保護者や地域の方に発信していくことで、学校図書館の役割、生徒との関わりを知ってもらえた。

保護者や地域の方にも学校図書館の本を紹介することで、家読につながっていくことも予想される。

- ・ 「こども読書週間」や「学校図書館の日」に行った図書館クイズやクロスワードパズルでは、学校図書館を活用することや読書の楽しさをわかりやすく伝えることができた。問題を解くことや答え合わせをすることが、全校共通の話題となりコミュニケーションの円滑化に役立った。

